

(様式1)

校 種	① ・ 中	学校番号	6 0	学校名	宇都宮市立上河内東小学校
-----	-------	------	-----	-----	--------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、「心の教育」の充実を図り、社会の変化に対応できる徳・体・知の調和のとれた、心身ともに健康で創造力に富む、人間性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

仲よく助け合う子 (やさしく)
がまん強くやりぬく子 (つよく)
よく考え進んで学ぶ子 (かしこく)

今年度の重点合言葉

やってみよう 続けてみよう 最後まで
(挑戦) (粘強さ) (たくましさ)
あいさつ・音読・タブレット

2 学校経営の理念

目指す学校像「楽しくいきいきした学校・やさしさのあふれる学校」を達成させるために、児童一人一人が意欲をもって精一杯活躍し、達成感や満足感を十分感じながら豊かな人間力を磨くことができる魅力ある学校を全職員で創造していくとともに、保護者や地域の協働のもと学校の教育力の活性化を図る。そのための教師像としては『子どもを愛し、信頼され、子どもと保護者の願いに応えられる教師、教師の使命と責任を自覚し、資質・能力の向上に努め、社会の変化に対応しながら自己の持ち味を生かす教師、明朗で心身ともに健康な教師、協働・同僚性を大切にする教師』を目指す。

3 学校経営の方針 (地域学校園内で共通する方針は、文頭に○)

人間力の基盤となる「豊かな心」「健康な体」「確かな学力」を育成するために

- (1) 豊かな環境、保護者や地域の教育力や全職員の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進し、魅力ある学校づくり、持続可能な学校づくりを目指す。(地域との連携)
- (2) コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係を構築する。(豊かな心の育成)
思いやりの心や規範意識を高め、人とよりよくなかかわりながら活動する環境づくりを行う。
- (3) 自ら健康・安全を考え実践する能力を育成する。(健康・安全教育の推進)
生涯にわたって健康・安全な生活ができるよう、積極的に体づくりや食育を推進する。
- (4) 確かな学力の向上を図る。(学力向上)
主体的・対話的で深い学びを実現する授業の工夫・改善を重ねることにより、基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育むまなびに向かう集団作りに努める。
- (5) 特別支援教育を踏まえた児童理解や学級経営に努める。(個に応じた支援)
- (6) 小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した教育活動の実践に努める。(小中一貫教育)
- (7) 教育公務員としての使命を自覚し、協働性・同僚性を大切にしながらか職員としての資質・能力の向上を図るとともに、勤務時間を意識した業務改善を推進する。(教職員の資質・能力の向上)

【上河内地域学校園教育ビジョン】

かしこく、たくましいゆずっ子の育成

～基本を身につけ、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 教育課程編成の方針

- (1) 各教科（特別の教科道徳を含む）、外国語活動（外国語科）、特別活動、総合的な学習の時間の教育課程表及び年間指導計画を編成するにあたっては日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校新学習指導要領・栃木県教育委員会の指導指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、学習指導要領を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、特色ある教育課程を編成する。
- (2) 「うつのみや“いきいき学校”プラン」「宇都宮市学校教育スタンダード」「うつのみや元気っ子プロジェクト」における目標を具現化し、豊かな人間力を磨くために、目指す児童の姿とそれを実現するための学校教育のあり方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。
- (3) 「小中一貫教育」の趣旨を理解するとともに、地域学校園内で連携をとりながら、地域の実情や学校の実態を踏まえた教育課程が編成できるように配慮する。
- (4) 学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や努力点・学校課題などを踏まえるとともに、前年度の学校マネジメントの評価・教育課程実施の反省（学校自己評価）・児童や地域の実態を十分に考慮して編成する。
- (5) 小学校新学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育活動全般にわたって徳・体・知の調和のとれた、思いやりあふれる豊かな心と自ら学び自ら考える「生きる力」を育むことを目指して「主体的・対話的で深い学び」が実現できる編成を行う。
- (6) 児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、3あい運動との関連を図りながら、異年齢集団による交流活動や教師と児童による主体的活動の推進と、意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・粘り強さと自己調整力を兼ね備えた豊かな心と確かな学力の調和のとれた育成を目指し、教職員が勤務時間を意識しつつ、協働性と同僚性を大切にしながら互いに高め合える学校経営の推進
- (2) 学習指導
 - ・ICTを活用し、生き生きと学び合う児童の育成
～主体的・対話的学習の推進を目指して～
 - 小中一貫教育カリキュラムの推進や地域学校園としての学習ルール作成
- (3) 児童生徒指導
 - ・相手の立場に立って考え、人とよりよくかかわることができる児童の育成
 - 基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守って行動する児童の育成
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
 - ・進んで体力の向上と健康の保持増進に取り組み、目標に向かって努力する児童の育成
 - ・ICTの有効活用による、教育活動の充実

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
 - ・互いに認め合い、相手の気持ちを考えて行動するやさしさ
 - ・自分で考えて行動する自主性
 - ・確実に基礎・基本を身に付ける力
 - ・夢や目標及び自己実現のために、諦めずに粘り強く取り組めるたくましさ

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取り組みには文頭に◇）

① やさしさとたくましさを育てる活動

- ・異年齢活動（◇収穫を祝う会 縦割班清掃 登下校班活動） ・スポーツタイム
- ・道徳の時間の重視（体験活動との関連、資料の活用、授業展開の工夫）・◇花壇整備等
- ・読書活動の推進（心に響く物語の勧め、図書ボランティアや教職員による読み聞かせ）

② やさしさと自主性を育てる児童会活動

- ・◇1年生を迎える会 6年生を送る会 児童集会 あいさつ運動
- ・人権週間やいじめゼロ月間の取組

③ 確かな学力の向上を図る指導

- ・基礎学力の確実な定着を図る個に応じた指導 ・音読活動の推進
⇒TT授業 習熟度別学習 かがやきルームの活用 ◇月暦カレンダー等環境整備
⇒ステップアップシートの活用（年5回） ◇個別最適化を目指した習熟プリント
⇒◇ぐんぐんタイム（朝の15分間）での反復練習（国語・算数）◇AIドリルの活用
⇒家庭学習の習慣化（低・中・高学年に応じた家庭学習、自主学習の仕方の指導）
- ・主体的・対話的で深い学びが実感できる意図的授業の展開
⇒「ねらいとねらいに沿った振り返り活動」及び「学び合いの手法の工夫」の実践
及びタブレットの効果的な活用

8 本市の重点施策・事業と関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的考え

- ・宇都宮市教育委員会の令和4年度指導の重点の大目標「成長し続けるための基盤を培う」及び小目標の（知）「基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力を育成するとともに目標を持ち、自ら学ぶ意欲を育む」（徳）「心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさを涵養する」（体）「生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。」及びうつのみや学校マネジメント全体アンケートの結果を踏まえ作成した学校評価書の総合評価を受けて以下のような考え方で進める。
⇒学校からの積極的な情報発信と家庭・地域への協力要請
⇒外に開かれた学校の推進（日常的な学校公開、学校支援ボランティアの活用）
⇒学校関係者評価を生かした学校経営の推進
⇒魅力ある学校づくり地域協議会の充実
⇒地域の教育力を取り入れた学習の充実
⇒学校、保護者、地域が連携した教育活動の充実

② 主な取組

- ・学校支援ボランティア、保護者及び地域人材の活用
⇒田植え、稲刈り、野菜づくり、収穫を祝う会、運動会、総合的な学習、宇都宮学
⇒環境整備（校庭除草、校内清掃）、児童への読み聞かせ活動
- ・各種「たより」やホームページの活用
- ・重点目標「あいさつ・音読・タブレット（挑戦・粘り強さ・たくましさ を目指して）」

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・テーマを「かしこく、たくましいゆずっ子の育成」とし、地域学校園の機能的で連携した教育活動を推進する。

②主な取組

- ・学力向上部会：朝の学習，ステップアップシート及びA I ドリルの活用
- ・学校生活適応部会：地域と協力したあいさつ運動の継続
- ・健康・体力・食育部会：歯科保健指導，持久力向上，地域の特色を生かした食育の取組
- ・交流連携促進部会：小中の交流活動の推進，一人職種の連携
- ・特別支援部会：各学校の実態・実践状況の把握，中学校への引継ぎ

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・「不登校対策の手引き・改訂版」を活用しながら，互いを尊重し合う温かな人間関係を築くなど新たな不登校を生まない集団作りに努める。

②主な取組

- ・各学級において当番活動や係活動，高学年にあつては委員会活動などの場を利用し，児童一人一人に活躍の場を与え，自己有用感，居がいのある学校生活が送れるようにすることで，開発的な不登校対策に努める。
- ・教育相談期間を設定し，定期的に全児童の学級内での人間関係を把握する機会を設け，不登校の予兆の早期発見に努めるなど，予防的な不登校対策を実施する。
- ・行き渋りや不登校児童が出た場合には，支援委員会等ケース検討の場を設け，適切に実態把握（アセスメント）を行い，それに基づいた目標設定と具体策の検討を実施し，全校体制で指導支援できるように対処する。

(4) G I G Aスクール構想

①基本的な考え

- ・予測困難で急激に変化する時代を生き抜く力を身に付けさせるために，1人1台配備されたパソコンを十分に活用し，これまでの学校教育の蓄積を生かしつつ，探究的な学びの実現を目指して，より主体的，能動的な学習につなげるとともに，I C Tを活用し，教師と児童及び児童同士のコミュニケーションを深め，社会とつながる協働的な学びにつなげていけるように努める。また，多様な子供たちを誰一人取り残すことのないようI C Tを活用した個別最適な学びに努める。

②主な取り組み

- ・基礎的・基本的なスキルを身に付けるための積極的な活用と情報モラル教育の充実
- ・多様な考えを引き出し対話的な学習を推進する
- ・A I ドリル等を活用した能動的で個別最適な学習
- ・プログラミング学習の充実
- ・基本ソフトを利用した学習のまとめ，新聞作成，作文等への活用
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた職員研修の充実

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解を深め、郷土愛の醸成を図る。

②主な取り組み

- ・社会科副読本、映像教材等を活用した、児童の興味関心を高める指導と基本的な知識の習得
- ・遠足、校外学習と連携した体験的活動の充実
- ・地域の伝統的な行事及び活動への積極的な参加
- ・タブレットを活用した宇都宮の自慢の発信
- ・食育との連携
- ・百人一首や昔遊び
- ・市出前講座や地域人材の積極的な活用